

事務事業名		国指定文化財・佐貫石仏保存管理計画策定事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり				所属課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	芸術・文化活動の推進				課長名	関 雄治	担当者名	川上誉之
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・地方自治報. 文化財保護法. 塩谷町文化財保護条例. 塩谷町文化財保存事業費補助金交付要領	
		1	0	9	0	4	0	1	0
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 本石仏は、大正15年2月24日に国指定記念物史跡に認定された磨崖仏であり、制作者は「弘法大師一夜の作」という伝承もある本町にとっても大変貴重な文化財である。現在では長い年月の風雨により浸食、一部崩落等が進み、全容を確認するのは困難となっており、今後、維持保全が必要とされる状況にある。また、磨崖仏中腹には「奥の院」と呼ばれる小石窟があり、その中におさめられている秘宝を62年に一度扉を開く御開帳という儀式で衆生に拝ませることとなっているが、明治42年に行われて以来実施されていない。通常であれば次回は約50年先になるため早急に御開帳を行い、収容物の確認(必要に応じて保存)を行う事は文化財保護の観点からも大変重要である。</p> <p>これらを行うためには国庫補助事業である保存管理計画を策定する必要があり、その策定には通常2カ年継続の事業であるため、平成26年～27年度にかけて実施する。またこの計画を策定するには考古学や地質学等の専門家による策定委員会を組織する必要があるが、その事前準備として今年度中に専門家及び文化庁担当者に現地調査をしていただく必要があるため今年度事業費として費用弁償及び報償費を計上する。</p> <p>2 概算事業費 平成25年度 事前準備 71,000円(費用弁償及び報償費) 平成26年度～27年度 保存管理計画策定費 4,000,000円(それぞれ単年で2,000,000円。うち1/2の1,000,000円は国庫補助)</p>							

(1) 事務事業の目的と指標			
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	保存管理計画の策定 策定委員会の開催	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	佐貫石仏	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	保存管理計画を策定し、佐貫石仏が今後も現在の形を維持出来る道すじをたてる	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 件		1	1			
	イ	実績値 件						
対象指標	ア	目標値 箇所	1	1	1			
	イ	実績値 箇所						
成果指標	ア	目標値 式	0	0	1			
	イ	実績値 式						

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費	国庫支出金	千円		1,000	1,000		
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	71	1,000	1,000		
	事業費計(A)	千円	71	2,000	2,000	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	71	2,000	2,000	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	国指定記念物史跡であり、町の宝でもあることから、文化財の維持・保存は、町の責務でもある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	磨崖仏は既に風雨、松の根等により、風化、浸食、一部崩落当があり、早急な手立てが必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	今年度については、事前調査のための最低限の支出であり、平成26年度・27年度についても国庫補助事業の採択基準が単年での事業費が最低2,000,000円であることから採択要件の最低基準である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	本町が所在地である国指定記念物史跡であり、国からの助成もできる事から公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 7 月 17 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) 小石窟(奥の院)の調査については、政教分離の原則から、御開帳に係る儀式的経費については支出しない。あくまで、調査に係る経費のみを支出すること。

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 28 年 3 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業